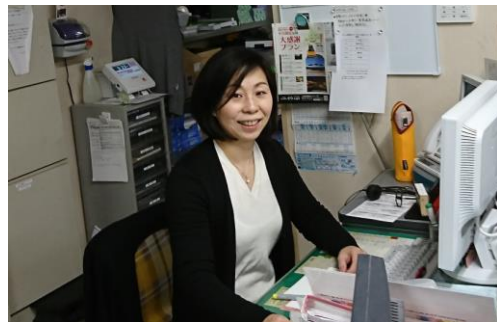


1971年生まれ、音更町出身。高校卒業後、航空自衛隊に3年間勤務した後、東京でエステ企業に転職。9年間勤務した後、十勝に戻り現ホテルのアロマテラピーサロン設立に参画。サロン、販売、宿泊各部門の支配人を経て結婚、出産し復帰。2017年から現職。



自分を育ててくれた会社のために働くことで地域に貢献したい

きっかけ

高校卒業後、親の勧めもあって航空自衛隊に入隊しましたが、1年もしないうちに、働くことの意義が見いだせなくなりました。元々自分のやりたかったことは美容の仕事だったと思い、東京の大手エステ企業に転職。向上心溢れる仲間にも恵まれ、とても充実していましたが、年齢を重ねるにつれ管理的な仕事が増えたこともあり、将来を考えて30歳を前に地元に戻ることにしました。はじめは事務職にも就いたのですが性に合わなくて(笑)。アロマテラピーサロンを併設したホテルが全く無い時代に、モール温泉に新しい付加価値を見いだす質の高いサロンを作るという考えに共感し第一ホテルに就職しました。

苦勞

心を開けてみれば、アロマテラピーサロンは自分一人でのスタートでした。当時としてはコンセプトが新しすぎて、ホテルのスタッフにすらよく理解されておらず、厳しい状況もありましたが、まずは目の前のお客様に満足頂くことだと思って頑張ったところ、時代の流れにも乗って徐々に業績も上がりました。しばらくすると「モール温泉+癒し」という新しいファン作りのための広報的な仕事が増え、2年目には高級リゾートホテル「三余庵」の立ち上げに関わったりと企画関係の仕事をする事が多くなり、アロマテラピーサロンの支配人から、販売やおみやげ品の開発をする販売課支配人、宿泊課支配人と仕事も変わっていきました。

満足度

私を無条件に信頼してくれて、いろいろな事に挑戦させてくれた会社には本当に感謝しかないです。仕事が変わってつまずいた時に、エステの仕事に戻った方が良いのではないかと考えた時もありましたが、社長や上司の導きも有り、新しいことに挑戦して成し遂げる達成感が何ものにも代えがたいものと感じてきました。現在の仕事は宿泊と営業の統括責任者で、以前は自分が出来るという事が全く考えられない分野でしたが、今では、ホテルの仕事はお客様の声を聞き、気持ちを察して取り組むことが基本で、どんな分野で仕事をして同じだと感じたと思って取り組んでいます。

これから

5年前に結婚し出産。産休を取って復帰したのですが、ホテルでは第1号の復帰者となりました。制度はあったのですが、夜の勤務が基本のホテルでは続けられると思う人が少なかったみたいで。私が産休を取ったことをきっかけに、子供を産んで戻ってきたいと言ってくれるスタッフも現れ、企業内保育所を作ることとなりました。近隣旅館、温泉地域で働くスタッフのお子さんも受け入れます。立ち上げに私も関わっていますが、この保育所に通った子供達がこの地域をより愛してくれるような、そして親の仕事に誇りを持てる質の高い保育所になりたいと思っています。

仕事って給料や生活のためだけにするものではなく、そこに喜びや楽しさを感じ、人生の活力となるものだと思います。子育てとの両立は大変で、一緒にいる時間が少ないことに対して後ろめたい気持ちもあるかもしれませんが、私はこれを責任と働く誇りに変えて行きたいと思っています。